



# 感じて動く ～ Feel & Move ～

目指す児童像：かしこさいっぱい やさしいっぱい たくまさいっぱい

三城小学校 学校だより

R5. 9. 11 第10号

校長 田中康隆

## アレルギー対応の職員研修を行いました

8月30日(水)の放課後、学校薬剤師の末松先生に来ていただき、エピペン(アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和する補助治療剤)を使った食物アレルギー対応の研修を全職員で行いました。急なことへの備えとして、様々な事案を想定し、必要なことを理解しておくことが重要です。いざという時(ないに越したことはないのですが)、正確な判断・行動ができるように毎年このような研修を行っています。



警察からご指導いただく不審者対応の避難訓練(子ども)・講習会(職員)も実施する予定です。

## SNSについて学びました

9月6日(水)と7日(木)の両日、県メディア指導員の江川先生をお招きして、3年生以上のリモートによるSNS教室を開きました。

これは、7月1日(土)の土曜授業で予定していたものです。SNSによるトラブルと言うと何か遠くの出来事のような気がしますが、大村市内においても、小中学生による深刻な事案が報告されています。けっして、他人事ではないということです。

6日(水)は中学年で、7日(木)は高学年で、実施をしました。「メディアとの付き合いは1日2時間以内、3日に1日は休みを入れましょう」等の具体的な付き合い方や依存症の怖さについて話をいただきました。

たくさんの保護者の皆様にも一緒にご参観をいただきありがとうございました。資料となるプリントは、全家庭にお配りをしました。ご家庭でも話題にして、SNSとの付き合い方のよい手本を示していただくと幸いです。

なお、授業参観の様子は、写真・動画共に個人での撮影をご遠慮いただくようお願いしています。今後ともご協力をお願いします。



4年3組からの配信の様子



6年3組の開始前の様子

## 力作ぞろいの夏休み作品展でした

9月1日(金)～5日(火)の間、本校体育館にて夏休み作品展が行われました。工作・図画・自由研究・書写等、子どもたちの夏休み中の成果物が、体育館のフロアーいっばいに並びました。

私には、我が子の夏休み作品展で苦い経験があります。離島に勤務していた時のことです。当時1年生だった息子と一緒に、ペットボトルや紙粘土、拾ってきた木の枝を使って「カブトムシの貯金箱」を作りました。これを某コンクールに出品したところ、よい賞を取ってしまいました。うれしいやら、ばつが悪いやら…。成人になった息子と当時のことを話すと、「ぼくは、誇らしかったよ」と言います。父と一緒に材料集めから始めた貯金箱づくり、立派な賞状と記念品…。これらが我が子にとってよい思い出となって残っていることにほっとしました。

それからは、保護者の皆様にも、「どうぞ一緒に、一生懸命になって作ってください」と共同作業を進めるようにしています。